

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 4 日 (2007.10.4)

【公表番号】特表 2007-505968 (P2007-505968A)
 【公表日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-010
 【出願番号】特願 2006-526905 (P2006-526905)
 【国際特許分類】

C 0 8 G 63/88 (2006.01)

【 F I 】
 C 0 8 G 63/88

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 8 月 15 日 (2007.8.15)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

重縮合後にポリエチレンテレフタレート pellets をペレット化及び結晶化するポリエチレンテレフタレート製造方法における使用エネルギーの減少方法であって、

a) 溶融ポリエチレンテレフタレートを凝固させて非晶質ポリエチレンテレフタレート pellets を形成せしめ、そして pellets を 50 ~ ポリエチレンテレフタレートの T_g の温度に冷却してポリエチレンテレフタレートの温 pellets を形成せしめ；そして

b) 晶析装置の流入口において、温度が 50 ~ ポリエチレンテレフタレートの T_g 未満の範囲である、ポリエチレンテレフタレートの温 pellets を、晶析装置に搬送することを含んでなる方法。

【請求項 2】

前記搬送工程が、ペレット化工程からの温 pellets を 50 ~ 90 の温度を有する水流中に導入することを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

温 pellets を晶析装置中に導入する工程の前に、ポリエチレンテレフタレートの温 pellets から水を除去する請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

搬送工程の前又は搬送工程の間に、水を除去する請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

有孔スクリーンを用いて水を除去する請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

機械的乾燥機中で水を除去する請求項 3 に記載の方法。

【請求項 7】

機械的乾燥機中で水を除去する請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記温 pellets が、前記晶析装置への流入口において、70 ~ 90 の範囲の温度を有する請求項 2 に記載の方法。

【請求項 9】

前記の水流が水除去工程から再循環された水を含む請求項 2 に記載の方法。

【請求項 10】

前記乾燥機に熱エネルギーを加えない請求項 6 に記載の方法。

【請求項 1 1】

前記搬送工程がペレット化工程からの温ペレットをガス流中に導入することを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 2】

前記ペレットと接触する前の前記ガス流が 4 0 ~ 9 0 の範囲の温度を有する請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記ペレットと接触する前の前記ガス流が 5 0 ~ 7 0 の範囲の温度を有する請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記温ペレットを晶析装置に導入する工程の前に、凝固及び／又はペレット化工程からの水を、ポリエチレンテレフタレートの温ペレットから除去する請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 5】

水を機械的乾燥機中で除去する請求項 1 4 に記載の方法。

【請求項 1 6】

前記温ペレットが、晶析装置への流入口において、7 0 ~ 9 0 の範囲の温度を有する請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 7】

前記ペレット化工程の前に、凝固ストランドから空気の噴射によって水を除去する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記のポリエチレンテレフタレートの温ペレットを、中間貯蔵なしで晶析装置に直接搬送する請求項 1 に記載の方法。